

日本建築家協会関東甲信越支部 保存問題栃木大会 「大谷での大会を終えて」

日本建築家協会関東甲信越支部保存問題栃木大会
NPO 法人 大谷石研究会 理事
実行委員長
佐藤公紀

■昨年3月12日・13日に開催を予定されていた日本建築家協会関東甲信越支部の保存問題栃木大会が、今年度の3月17日・18日に宇都宮市で開催されました。災害を経ての大会でしたので、果たしてどれだけの方々が参加して下さるのか心配しながら準備を整えていきましたが、ふたを開けてみると総参加者数は100名を超え、企画した側として正直ホッとしました。

■参加者は推定平均年齢60歳でしたが全員地下50メートルの「石の里」地下採石場を見学した後、栈橋を上がった時には非日常的な空間の体験で大分興奮していたようです。



■雨の中「高橋佑知商店」採石場を見学する

■午後1時スタートの大会初日はあいにくの雨天となり、参加者の皆さんには足もとの悪い中を小野口邸、渡辺邸、屏風岩渡辺家、大谷寺、大谷公園や石の

■旧厚生年金保養施設である温泉付きの宿泊施設での懇親会は、福田富一栃木県知事のフレンドリーな挨拶で始まりさらに武井貴志会長が率いるジャズバンドの演奏で大いに盛り上がり大変楽しい内容となりました。それにしても2次会、3次会での皆さんタフさ加減には脱帽でした。

■2日目の午前中は市内に残る大谷石空間巡りを主とした見学会となり、松が峰教会、南宇都宮倉庫群の保存活用例や歴史的建造物の保存活



■宇都宮大学梶原教授による南宇都宮倉庫群の説明



(株) シオダ建築デザイン事務所

モテナス芳賀 2007.11



オトワ レストラン
栃木県宇都宮市西原町3554-7
Tel.028-651-0108
www.otowa-artisan.co.jp

©Ryo HATA



■宇都宮大学峰ヶ丘講堂でのシンポジウム

「大谷石を取り巻く現状と魅力について」参加者の皆さんに知っていただく事が出来たのではないかと思います。見学先の皆様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

用例として佐藤功一記念室のある旧県庁舎等を見学の後、石のレストランであるハチノシヨウ、石の蔵ピストロ天野でランチを楽しんでいただきました。

■午後は、保存活用例である宇都宮大学峰ヶ丘講堂でのシンポジウム。パネリストは建築家中山繁信氏をはじめ岡田義治先生、小西敏正先生、藤原宏史さん、武井貴志会員と大谷石に関して深い知識と愛情を持っている方々で揃え、保存の現実的な問題、法的扱いの限界まで含め討論した内容の濃い

シンポジウムになりました。説明が不足した点としては、宇都宮大学峰ヶ丘講堂の基礎は大谷石ですが、外側を芦野石で保護されていたせいか、88年を経た現在も健全を保持している事を改修時に確認した事。また窓の外に見える大谷石の旧図書室は、将来カフェ等に転用し、庭園を含めて再整備する計画が宇都宮大学安森研究室で現在検討されています。

■各見学先を担当した各会員の熱のこもった説明と迫りくる予定時間とのせめぎあいの中、少々盛り沢山のメニューを分刻みの移動で大谷石と石空間を十分味わっていただく事が出来たのか気になるところですが、本大会で「大谷石を取り巻く現状と魅力について」参加者の皆さんに知っていただく事が出来たのではないかと思います。

大谷石 東西南北

代々木公園を囲む大谷石の壁

(NPO法人 大谷石研究会広報担当 平沼 隆志)

東京・渋谷区の代々木公園といえば、日本の公園の中でも指折り数えるほどの有名公園だろう。その公園の壁に大谷石が使われているのを知ったのは最近のことだ。JR原宿駅からNHKに至るあたりの「表玄関」では見当たらないが、代々木公園交番付近から参宮橋門を越え青少年総合センター周辺まで延々と続く。実際に歩いた感覚では総延長2キロくらいありそうな気がする。



同公園のサービスセンターによると、大谷石の壁を作ったのは昭和45年ごろらしい。公園が出来て間もなくだ。残念ながら、大谷石を使った経緯ははっきりしない。歩きながら眺めると、壁には場所によって建設時期の違いがありそうにも見える。大谷石が周囲の景観にマッチしていい雰囲気だ。人通りの多い表玄関側でないのが惜しい。



全国にある大谷石建造物を100集めた「大谷石百選 自然美・建築美」。お求めは、NPO法人大谷石研究会事務局=TEL028(652)0005へ

企画・出版 NPO法人 大谷石研究会
制作協力 NHK出版 定価 2000円



■岡田義治先生による松が峰教会の説明

社団法人 日本建築家協会の取り組み

日本建築家協会の活動は多岐に渡っていますが、基本は社会貢献活動です。建築家の仕事そのものが本来国民の財産と命を守り、美しく快適な環境を設計することによって生き活きた生活や社会活動を可能とする仕事です。建築家の仕事は社会の福祉向上のために行われるのです。



大切にしますパートナーシップ



印刷技術がいかに進歩しようとも
技術表現の根幹は「心」であると考えます

印刷のご用命は

株式会社 **新光社印刷**
〒321-0811 宇都宮市大通り2-4-1番地
TEL 028-633-4718(代) FAX 028-637-3981



大谷石と共に170年



採掘販売事業部・石材加工事業部・砕石加工事業部
設計・施工

有限会社 高橋佑知商店

本社 宇都宮市大谷町350番地
TEL 028(652)0005(代表)
FAX 028(652)0192